

協会からのご案内

- 1 協会だより
- 2 当協会発行・編集出版物
- 3 当協会の国際連携のご紹介

1 協会だより

1. トピックス：2024年CMA（証券アナリスト）第2次試験の結果／SAAJサロンの開催／IASB理事と企業会計研究会委員の意見交換会を開催／シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2024年春試験）の結果／国際会計基準審議会の公開草案「企業結合－開示、のれん及び減損」及び「再生可能電力に係る契約」について意見書を提出／サステナビリティ基準委員会の開示基準の公開草案について意見書を提出／「地区交流会」の活動状況／講演会の動画／講演要旨
2. 顧問・委員・会員の異動

1. トピックス

▶2024年CMA（証券アナリスト）第2次試験の結果を公表しました

2024年6月に実施したCMA（証券アナリスト）第2次試験（プログラム改定後2回目の試験）の受験者数は2,556名（2023年試験2,548名）、合格者数は1,139名（同1,189名）、合格率は44.6%（同46.7%）でした。

試験結果はこちらから ▶



▶SAAJサロンを開催しました（8月7日）

好評のSAAJサロン、2024年度第2弾「日本株投資戦略」を8月7日に開催しました（参加者18名）。講師にパルナツソス・インベストメント・ストラテジーズ株式会社 代表取締役 宮島秀直氏をお迎えし、不透明感が増す世界情勢を踏まえた日本株を巡る投資環境等について、熱弁いただきました。質疑や講演後の講師を交えたフリートーキングなど、交流が盛んに行われました。講演部分はオンデマンド配信でご視聴いただけます。



▶IASB理事と企業会計研究会委員の意見交換会を開催しました

2024年7月2日に、国際会計基準審議会（IASB）のNick Anderson理事、鈴木理加理事と財務諸表利用者である企業会計研究会の委員8名による、IFRS第18号「財務諸表における表示及び開示」（2024年4月9日公表）に関する意見交換会を開催しました。

IFRS第18号は、財務諸表利用者による企業の財務業績の分析を支援するために開発された会計基準です。

当日は、次のような内容について有意義な意見交換が行われました。

1. 損益計算書の区分及び小計

IFRS第18号では、収益及び費用を「営業」「投資」「財務」の区分に分類し、損益計算書に「営業利益」等の小計を表示することを要求しています。

企業会計研究会の委員から、「投資」や「財務」が主要な事業活動となっている企業が増えている中、「営業」「投資」「財務」の区分は適切に行われるのかという質問がありました。

IASB理事から、区分の要件は明確に定められており、企業がその要件に従って適切に判断すれば、恣意的に区分することはできないだろうという回答がありました。

2. 経営者が定義した業績指標（MPM）

IFRS第18号では、「調整後営業利益」等の経営者が定義した業績指標（MPM）について、一定の開示を要求することで、MPMの透明性の向上を図っています。

企業会計研究会の委員から、財務情報とサステナビリティ情報のつながりの観点から、MPMと国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）が開発するサステナビリティ開示基準との連携を期待しているという意見がありました。

IASB理事から、IASBとISSBは連携を進めており、IASBでも「財務諸表における気候関連及びその他の不確実性」のプロジェクトを進めているという説明がありました。

3. 情報のグルーピング（集約及び分解）

IFRS第18号では、基本財務諸表と注記に含めるべき情報のグルーピング方法についてのガイダンスを提供し、比較可能性の向上を図っています。

企業会計研究会の委員から、IFRS第18号の要求事項は損益計算書に焦点が当たっているが、貸借対照表にも影響があるのかという質問がありました。

IASB理事からは、企業がIFRS第18号を導入するに当たり、財務諸表の表示及び開示のあり方を全体的に見直すことで、損益計算書のみならず貸借対照表についても財務諸表利用者に有用な表示及び開示がなされることを期待しているという回答がありました。



▶シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2024年春試験）の結果について

当協会では、シニア・プライベートバンカー（シニアPB<上級レベル>）資格の筆記試験（総合提案書の作成、2024年春試験）に関し、PB資格試験委員会（委員長：新井 富雄 東京大学 名誉教授）の審議を経て、合格者を決定しました。

シニアPB筆記試験（2024年春試験）の受験者64名のうち合格者は15名、合格率は23.4%となり、合格者15名にはシニアPB資格が付与されました。この結果、シニアPB資格認定者は、累計で341名となりました。

詳細は、当協会ホームページ>「プライベートバンカー（PB）資格」>「新着情報」をご覧ください。

▶国際会計基準審議会の公開草案「企業結合－開示、のれん及び減損」及び「再生可能電力に係る契約」について意見書を提出しました

国際会計基準審議会（IASB）は、2024年3月14日に公開草案「企業結合－開示、のれん及び減損」を、5月8日に公開草案「再生可能電力に係る契約」を公表し、各界からの意見を募集しました。当協会企業会計研究会では、これらに対応して意見書を取りまとめ、それぞれ2024年7月12日と8月7日にIASBに提出しました。

詳細は、下記ボタンからご覧ください。

詳細はこちらから >



▶サステナビリティ基準委員会の開示基準の公開草案について意見書を提出しました

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）は、2024年3月29日に、サステナビリティ開示ユニバーサル基準公開草案「サステナビリティ開示基準の適用（案）」、サステナビリティ開示テーマ別基準公開草案第1号「一般開示基準（案）」及び同第2号「気候関連開示基準（案）」の三つの公開草案を公表し、各界からの意見を募集しました。当協会サステナビリティ報告研究会では、これらに対応して意見書を取りまとめ、2024年7月31日にSSBJに提出しました。

詳細は、下記ボタンからご覧ください。

詳細はこちらから >



▶ 「地区交流会」の活動状況について

○SAAJ主催地区交流会勉強会

- ・開催日時：7月12日（金）18:30～19:30
Zoomウェビナーにて開催
- ・勉強会テーマ：地域金融機関のビジネス環境
～コスト削減から成長投資へのシフトが重要に
- ・講師：大嶋秀雄氏 CMA
株式会社日本総合研究所 調査部 金融リサーチセンター 主任研究員
各地区から多数のアクセスがあり、Web上での質疑応答も活発に行われました。

○九州地区交流会勉強会（2024年度第2回）

- ・開催日時：8月2日（金）19:00～20:30
- ・勉強会テーマ：資産の取り崩しの考え方
～「60代6000人の声」アンケートと
モンテカルロシミュレーションの結果から
- ・講師：野尻哲史氏 CMA
合同会社フィンウェル研究所 代表
- ・参加者：17名
勉強会終了後には、懇親会を開催するなど会員間の交流も活発に行われました。



▶ 講演会の動画を協会ウェブサイトに掲載しました

① 「我が国のエンゲージメントの実態分析と効果検証～大量の対話データに基づくエンゲージメントと企業価値向上の因果分析～」(7月22日開催)

講師：塩村賢史氏 CMA（年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）ESG・スチュワードシップ推進部長）

浅野雄太氏 CMA（年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）ESG・スチュワードシップ推進部 ESG・スチュワードシップ推進課 企画役）

② 「コーポレートガバナンス改革の現在地（2024年アップデート）」(7月30日開催)

講師：山田英司氏（日本総合研究所 理事）

③ <SAAJサロン>

「日本株投資戦略」(8月7日開催)

講師：宮島秀直氏（パルナッソス・インベストメント・ストラテジーズ 代表取締役）

④<産業研究会企画>

「中国経済の現状と今後の展望」(8月19日開催)

講師: 初田好弘氏 CMA (SOMPOインスティテュート・プラス 上級研究員)

- ◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、下記ボタンから視聴できます。

「動画」はこちらから >



▶講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました

①<産業研究会企画>

「経済産業政策新機軸部会・第3次中間整理のご紹介～停滞から成長へ移行できるか?～」(7月16日開催)

講師: 濱野展幸氏 (SOMPOインスティテュート・プラス 企画・公共政策グループ 統括上席研究員)

②「コーポレートガバナンス改革の現在地(2024年アップデート)」(7月30日開催)

講師: 山田英司氏 (日本総合研究所 理事)

③<SAAJサロン>

「日本株投資戦略」(8月7日開催)

講師: 宮島秀直氏 (パルナッソス・インベストメント・ストラテジーズ 代表取締役)

- ◆検定会員、個人賛助会員、一般会員および法人・法人賛助会員の役職員の方は、下記ボタンから無料で閲覧・ダウンロードできます。非会員の方も有料で閲覧・ダウンロードできます。

「要旨」はこちらから >



2. 顧問・委員・会員の異動 (敬称略)

▶顧問の異動

(7月30日)

退任 清水 博 生命保険協会 前会長

新任 永島 英器 生命保険協会 会長

▶委員の異動

○第39回日本証券アナリスト大会実行委員会（7月16日）

委員長 村松高明 SMBC日興証券
副委員長 壁谷洋和 大和証券 CMA

○ディスクロージャー研究会

・専門部会（7月19日）

（トイレットリー・化粧品）

退任 川本久恵 ジェフリーズ証券会社東京支店
就任 大花裕司 野村證券 CMA

▶会員の異動

○新入会者（2024年7月中、五十音順、勤務先は同意のあった方のみ掲載）

検定会員

伊藤 大介	株式会社日本政策投資銀行	平岡 万葉人	スターティアホールディングス株式会社
岩崎 優人	東京短資株式会社		
上野 友介	株式会社みずほ銀行	廣田 和寿	
片桐 和幸	大和リビング株式会社	榎本 泰治	
木原 太一	日本生命保険相互会社	松嶋 優太	株式会社 Spotlight
小宮 隆		三上 大輝	アセットマネジメント One 株式会社
杉山 浩司	みずほ信託銀行株式会社	三ツ井 理絵	
常盤 馨	アイフィクシー株式会社	三宅 秀樹	日鉄ソリューションズ株式会社
鳥居 剛		森田 千裕	
中里 光		山本 真也	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
成田 和弥			
新原 大	株式会社 KKR キャピタル・マーケッツ	山本 治紀	
西川 拓見	株式会社りそな銀行	弓能家 有起	有限責任 あずさ監査法人
西間木 啓行	日本生命保険相互会社	若木 永吉	野村證券株式会社
日高 隆伸	LGT ウェルスマネジメント信託株式会社	渡邊 啓輔	

法人会員

株式会社武蔵野銀行

法人賛助会員

TechMagic 株式会社

○退会・会員資格喪失（2024年7月中、五十音順、同姓同名の場合は会員番号も記載）

1. 定款第12条第1項第1号による退会・会員資格喪失

<会費完納者>

検定会員	大橋 由希	鈴木 亮次	野口 秀正	馬場 猛
	木村 文登	柘植 寛	馬場 敏	瑞岩 英幸
	斎藤 慎			

協会からのご案内

<上記以外>

検定会員

阿曾 洋
石井 稔
上野 栄一
江添 勝哉
大杉 敦
大高 顕晃
岡本 健
門脇 博
金田 明
川上 裕二

岸本 伸一
岸良 哲志
後藤 伸樹
齊藤 喜寛
佐久間 和博
島田 義彦
高橋 仁 18894
武井 信二
多田 泰久
田中 弘之 9844

谷口 達也
近本 英寛
辻林 克弘
土橋 久美子
中村 浩幸
長島 寛
根岸 淳
野口 卓
橋本 一之
林 健二

原澤 賢吾
細井 裕之
森 雅裕
森川 和秀
山下 泰弘
山本 克哉
吉岡 英一
渡部 洋人
和田 英作

2. 定款第12条第1項第3号による退会・会員資格喪失

検定会員 大浦 勇樹 前田 優子
一般会員 由良 玄太郎

○会員状況 (2024年7月31日現在)

個人会員 (検定会員) (一般会員)	法人会員	賛助会員 (法人賛助会員) (個人賛助会員)	合計
29,102 (29,038) (64)	195	140 (114) (26)	29,437

個人会員の皆さまへ

マイページをぜひご活用ください!!

まだマイページを取得されていない検定会員・一般会員の方は、以下の方法で手続きしてください。

■マイページの取得方法

協会ホームページ (<https://www.saa.or.jp/>) の「会員手続きについて」または「会員手続関連」の「会員の各種手続き」⇒「マイページ取得手続き」から

■マイページ取得者限定のメリット (24時間利用可能)

- (1)証券アナリストジャーナル電子ブック閲覧、論文ダウンロード、多機能型検索システム利用 (無料)
- (2)講演会・セミナー等の要旨ダウンロード (無料)
- (3)講演会・セミナー等の動画配信閲覧 (会員割引価格)
- (4)IRミーティング、講演会・セミナーの簡易申込が可能 (連絡先等が入力不要)
- (5)年会費のクレジットカード支払や入金確認メールの受信、入金状況の確認が可能
- (6)インターネット上でご自身の登録状況が確認でき、住所変更や同意情報の変更が可能
- (7)継続学習のクレジット登録が可能

<照会先> 会員担当 E-mail : member@saa.or.jp

2 当協会発行・編集出版物

☆詳細は当協会ホームページ>協会について>協会概要>

出版物・パンフレットをご覧の上、お申込みください。

【書籍送料】1冊160円、2冊210円、3冊310円、4冊以上500円

こちらからも
お申込み可能→



○証券アナリスト職業行為基準実務ハンドブック（2021年改訂）定価650円（税込）

本書は、職業行為基準各項目の詳細な解説と豊富な事例を通じて、職業行為基準について立体的な理解を得られるよう構成し、関係法令や自主規制規則等を適宜引用、紹介しています。前版（2019年）からの主な改訂としては、事例の見直し（追加等）のほか、所要の修正を行いました。

○プライベートバンカー（PB）資格テキスト

●「新プライベートバンキング」（第1～3分冊）2023年1月発刊

定価 第1・第2分冊3,630円（税込）、第3分冊3,300円（税込）

新しいプライマリー PB試験対応テキスト。PB業務に必要な基礎的知識を体系的に明示し、事例・図表等を用いてわかりやすく解説しています。

●「顧客のための総合提案書の作り方」定価1,980円（税込）

シニアPB（上級）向けテキスト。事業・資産承継と運用に関する投資政策書入門。PBセミナーのケーススタディをベースに総合提案書の作成方法と事例をまとめた実践書です。

○資産形成コンサルタント（ABC）資格テキスト・問題集

●「資産形成コンサルタント」2023年12月発刊

定価4,180円（税込）

資産形成コンサルタント資格試験対応テキスト。顧客のゴールを踏まえ、ポートフォリオ提案スキルをレベルアップするために必要な知識が学べます。

●「資産形成コンサルタント資格試験問題集」2024年2月発刊

定価2,530円（税込）

資産形成コンサルタント資格試験対応問題集。資産形成コンサルタント資格を目指す方がテキストで学んだ知識の理解・定着を図ることができます。

PB資格テキスト、資産形成コンサルタント（ABC）資格テキスト・問題集は、ときわ総合サービスのホームページ「ときわんブックストア」をはじめ、全国書店、各通販サイトから購入できます。

証券アナリスト（CMA）講座テキストの販売

（CMA限定）

◆購入申し込みはマイページの「教材・図書」からどうぞ。

定価（税込）

講座テキスト（1冊ごとに販売）	第1次レベル	各1,100円
	第2次レベル	各1,100円

（注）別途送料がかかります。

3 当協会の国際連携のご紹介

国際公認投資アナリスト（CIIA）制度をはじめ、教育プログラムに関する情報交換、他の国際組織に対するアナリストとしての意見表明など、国際連携を多角的に展開しています。

ACIIA (Association of Certified International Investment Analysts) URL: www.aciia.org

アジア、欧州、南米、アフリカの22の証券アナリスト協会および1証券アナリスト協会連合会を構成員とするACIIA（スイス非営利法人）では、CIIA（国際公認投資アナリスト）資格試験を運営・推進しています。当協会はACIIAの理事会メンバーとして、ACIIA/CIIAの運営を支援しています。

- ACIIA理事会・年次総会が2024年6月26日（水）にチューリッヒにおいて開催されました。概要は、[協会ホームページ](#)>[協会について](#)>[国際連携](#)>[グローバル・コミュニティ](#)>[コミュニティ情報](#)をご参照ください。
- CIIA試験を受験するには、まずCMA試験に合格する必要があります。詳細は、[協会ホームページ](#)>[CMA資格](#)>[国際公認投資アナリスト（CIIA）](#)をご参照ください。
- ACIIA加盟協会が主催するセミナーについて、CIIA資格保有者が参加する場合、参加料が無料または割引価格となる場合があります。
- CIIA資格は主要国・地域の当局等に認知されています。詳細は、[協会ホームページ](#)>[CMA資格](#)>[国際公認投資アナリスト（CIIA）](#)>[CIIA資格のメリット](#)をご参照ください。
 - ・ CIIA資格保有者は、証券業務従事者等に義務付けられている試験の一部が英国金融行為規制機構（FCA）、香港証券及期貨事務監察委員会（SFC）および台湾証券暨期貨市場發展基金会（SFI）から免除され、基本的には法規制等の試験のみという特典を受けられます。アルゼンチン、ブラジルなどの当局からも試験の一部免除があります。
 - ・ イタリア、スペインなどでは、CIIA資格試験が投資アドバイザー業務従事者に義務付けられている資格試験の一つとして当局から認定されています。中国では、中国証券業協会がCIIA試験を実施しています。ロシアでは、中央銀行がCIIA試験を認知しています。
 - ・ CIIA資格保有者は、米国に本部を置くプロフェッショナル・リスクマネージャー国際協会（PRMIA: Professional Risk Managers' International Association）が運営・管理するPRM: Professional Risk Manager資格（民間資格）試験が一部免除されます。

ASIF (Asian Securities and Investments Federation) URL: www.asif.org.au

アジア・オセアニア地域の7アナリスト協会で構成する連合組織。事務局シドニー。当協会は、前身のASAFの時代から、理事会・委員会メンバーとして、ASIFの運営を支援しています。